

白根コミュニティ協だより

第44号

令和4年3月発行



白根



発行 白根コミュニティ協議会
 連絡先 白根地域生活センター
 TEL・FAX 025-373-2800
 shirone.community@ninus.ocn.ne.jp



健康ウォーキング講座 in 白根

今年度も篠田浩子先生を講師に招き、10月から健康ウォーキング講座 in 白根の3回講座を開催しました。

1回目と2回目

は白根地域生活センター体育館を使い、自分自身に合ったウォーキングスタイルを見つけ、ストレスなく毎日続けられるようなウォーキング方法の講義を受け、実技指導をいただきました。

3回目はウォーキングマナーを学びながら白根公園内と白根の町中をウォーキングしました。曇り空でしたが、屋外ウォーキング約2.5kmを楽しみました。



イングリッシュクラブ

9月から、地域生活センターでイングリッシュクラブを開催しました。基本的に月に2回行われ、小学生向きの放課後活動です。

毎回、月曜日の4時から始まって、単語と英会話を中心となります。最初は英語の挨拶を交わし、その日の英単語が紹介されます。生徒たちがその言葉をしっかりと覚えたら、それに基づいた簡単な会話を練習します。目標は英会話に遊びながらなじんで、未来の外国語勉強を楽しめるようになることです。



30分〜40分の英会話勉強が続いたら、後半はフリータイムに入ります。用意されているゲームの中から生徒たちが選んで、英語を使いながら自由に遊びます。お迎えの時間まで楽しい一時になります。現在、人数が少ないので新しい参加者は大歓迎です。興味があれば、是非体験してください。

健康づくりウォーキング

10月23日(土)、朝からの雨予報を心配しながら、曇り空の下「紫雲寺記念公園」のウォーキングを楽しみました。

今年度はコロナの影響で様々な事業が中止になりましたが、マスク着用、手指消毒などの感染防止対策を講じながらの開催となりました。

風が強かったものの幸い雨は降らず、景色を楽しみながら約1時間間のコースを歩きました。



白根地区

コミュニティ懇談会

令和3年11月11日、白根地域生活センター体育館において開催されました。

南区長、関係課長をはじめ市議の皆様からも出席いただきました。風合戦や防犯・防災対策等のテーマについて活発に意見交換が行われました。



〈質疑概要〉

問 今年は令和3年、昨年は令和2年で

白根大風合戦の開催について

発言 昨年、白根大風合戦は新型コロナウイルスの影響から中止となり、今年も期間短縮や入場制限などを行い実施されたが、課題などは検証されているのか。また、来年の開催について、現在のウイルス禍のもとで実施する方向なのか。実施するに際して対策等は考

えているのかお聞かせいただきたい。

回答 イベント開催ガイドラインに沿って、入場者の制限、検温・消毒・名簿管理などの感染防止対策を盛り込んだ実施計画を策定しました。その上で開催期間も従来の5日間から3日間に短縮して開催しました。開催期間中はこの実施計画により運営を行い、感染者を出さずことなく終えられ、対策の有効性を確認するとともに地域の賑わいをみせることができました。来年の開催については、新型コロナウイルスの状況に左右されると思いますが、国などの指針に沿って風合戦協会や実行委員会と検討を進めていきます。

通学路の安全対策について



発言 今年の6月に、千葉県八街市で下校中の児童の列にトラック

が衝突する事故が発生し、現場は通学路でガードレールやセンターラインがない狭い道路だった。南区にもこのような危険な通学路はあるのか。点検されているのかお聞かせいただきたい。

また、平成30年5月に、西区で下校中の小学2年生の児童が連れ去られ殺害されるという痛ましい事件もあった。

これらの事件・事故から市及び南区において、通学路の安心安全対策の取り組みを教えてください。

回答 国からの通知を受けて、市教育委員会では市内全小学校に通知し、通学路の危険箇所について洗い出しをするよう依頼しました。南区では今回の事故のような危険な通学路はありませんでしたが、新たな危険箇所として50箇所の報告があり、そのうち白根小学校は8箇所ありました。歩道と車道の区画線引き、停止線の引き直し、歩道の拡幅など改善できるところは今後対応していきます。

現在、白根小学校では20名の方から「子ども見守り隊」として参加いただき、子どもたちの登下校の様子を見守っていただいております。

ます。PTAの校外指導部では50名の役員が月1回登校の見守り活動を行っていただいております。

また、白根商工会青年部でも9月から毎月1回下校時の子ども見守り活動を行っていただいております。

西区の事件を受けて、地域・行政・学校による合同会議を開催し、小学校区の防犯マップの作成、配布を行いました。その後は各校で毎年、点検と見直しを行っております。

冬期除雪計画について

発言 今年の年明けは一昨年に続き豪雪となり、幹線道路や生活道路では通行に支障をきたすところもあった。除雪体制等の検証がされていると聞いていますが、いつ頃提示されるのか教えてください。

回答 市全体の除雪体制等について、検証作業を行っている途中であり、間もなく中間報告があるようです。その考えを踏まえながら南区における改善点をお話しします。

除雪時間の短縮として、除雪路線を多く受け持つ業者について、

他の業者への路線の組み替えを行い、特定の業者だけに負担が掛からないようにします。

雪捨て場の増設として、これまでの北部工業団地、庄瀬の河川堤外地に加え、白根カルチャーセンター駐車場、味方野球場駐車場、味方出張所駐車場、白根野球場駐車場、味方やすぎ公園駐車場を雪捨て場とすることで、排雪作業の効率化を図ります。また、皆さんのお近くの公園を雪捨て場として利用することもありますので、ご理解をお願いします。

大雪時はバス路線などを優先して作業を行います。また、エリアごとに業者間の応援体制を組んでいきます。

災害ケースマネジメントの導入について

発言 先日、NHKで被災者への援助の番組があり、条例や法律がないなどの理由で行政から突き放されている被災者が多いと感じました。新潟市でも被災者に寄り添って伴走してあげられる災害ケースマネジメントの導入を望む。

回答 被災者一人ひとりが抱える個別の課題に寄り添って解決を探ろうというのが、災害ケースマネ

ジメントになります。災害で住宅が損壊した方や体調を崩した高齢者などに行政の支援制度を紹介したりしながら生活再建の後押しを行う制度です。

この災害ケースマネジメントは、仙台市や熊本市など大規模災害を経験した一部の自治体で先行して取り組みが始まっており、今後のモデルケースとなることが期待されています。

本市においては導入の見込みをお伝えできる段階ではありませんが、重要かつ必要な制度であること認識しておりますので、引き続き情報を収集しながら検討していきます。

複合災害の対応策について

発言 大雪時に大地震が発生する場合や大地震発生時に大規模火災が発生する場合など、複合的な災害を想定して対策を講じているのかお聞かせいただきたい。

回答 本市では様々なケースを想定して防災対策を進めておりますが、近年はその想定を上回る規模の災害が多発しております。今後、情報収集と対策の検討を行い、常に最善の備えができるよう努め

てまいります。

現在、避難所での新型コロナウイルスの感染が危惧される場所ですが、発熱の症状がある方は学校であれば普通教室などを使用するほか、症状が酷い場合は一時的に移ってもらう施設を確保してあります。

地域の皆さまからは、防災訓練のなかで発電機の使い方や段ボールベッドの組み立て方など、避難所の備蓄品の確認と体験をしていただき、地域の防災力向上につなげていただきたいと思います。

新潟市のフレイルの取り組み

発言 フレイルは健康な状態と要介護状態の中間に位置し、身体機能や認知機能の低下が見られる状態のことを指すが、適切な治療や予防を行うことで要介護状態に進まずにすむ可能性があると聞いている。市はどのような取り組みをしているのかお聞かせいただきたい。

回答 フレイルとは、日本語訳としては「虚弱」の状態と言われています。

本市のフレイル対策としては、簡易チェックと深掘りチェックの2つのチェックシートで行う「フレ

イルチェック」を全市展開して進めております。この「フレイルチェック」は所定の講座を受講した高齢者ボランティアで構成された「フレイルサポーター」が中心となって運営しております。現在南区にはおりませんが、今後人数を増やしていくことで、実施地域の拡大を図っていきます。

白根高校の存続について

発言 白根高校は地域の文化、歴史、教育には大事な存在であることから、将来的に南区から唯一の高校が消えてしまうことがないよう、区として何らかの形で関わってほしい。

回答 白根高校の生徒数が189人いるなかで、南区の生徒は121人いて、生徒数の約3割が白根地区（白根第一中学校）の生徒です。

例年、卒業生の約8割が地元就職や地元進学と地元に残る傾向があり、白根高校では平成26年から特徴のある高校にするため、地域ボランティア活動を通して地域とともに生徒を育て、地域に返す取り組みを始めています。

一昨年の白根子行進曲では、商



店街シャッターのペンキ塗り、まち歩きガイド、白根食材でのデザート作りなどを行いました。また、生徒全員が南警察署から「ヤングボランティア」に委嘱されており、この度、こうした防犯啓発活動の取り組みが高く評価され、特別功労賞の表彰を受けたことが新聞に掲載されました。

区としては、白根高校のボランティア活動が円滑に進められるように、区の予算で地域コーディネーターを配置し、地域と学校の橋渡しを行っており、今後も支援を継続してまいります。



白根支部役員・委員・白根高校ヤングボランティア、南警察署、南区役所職員等が原信白根店とイオン白根店に分かれ、特殊詐欺防止を呼びかけました。



12月15日、防犯協会白根支部主催の街頭啓発活動が実施されました。

年末防犯 街頭啓発活動

白根地域生活センターをご利用ください！

●白根地域生活センターは、サークル活動や会議等、幅広くご利用いただけます。

【所在地】

新潟市南区白根 1136-1
(旧青年教育センター)

【利用方法】

利用日の前日までに所定の申請書を提出し、許可を受けてください。利用月の2か月前の1日より受付ます。部屋の利用に関しては電話、ファックス、メールで仮予約ができます。
TEL・FAX 373-2800

【駐車場】

区役所駐車場をご利用ください。

【貸出設備】

ピアノ(第1研修室)、
スポーツミラー2台(視聴覚室)、
プロジェクター、スクリーン、アンプ、
マイク等貸出いたします。

白根地域生活センター 館内図

